



パレードを見送る五日市保育園の園児たち

## 山火事防止策を確認 パレードで啓発活動

町山火事防止対策協議会は4月12日、くずま〜で関係者20名が出席して行われ、山火事防止策などについて確認しました。

鈴木重男町長は「山火事は未然に防ぐに越したことはありませんが、万が一発生した場合でも被害を最小限にできるよう、対策を再確認しましょう」とあいさつ。その後、消防団や森林組合などの関係車両がくずま〜を一斉に出発し、町内3方向へ分かれてパレードしながら、火の始末をしっかりと行うことなどを呼び掛けました。

## 帽子のマスコットで 非行防止を呼び掛け



4月、町更生保護推進協議会の皆さんが各中学校の1年生に「非行帽子マスコット」を贈り、犯罪や非行防止を呼び掛けました。

18日には、江刈中学校を保護司の下道喜美男さんと更生保護女性の会の高宮光子さん、柴田幸榮さんが訪問し、犯罪を犯した人の再犯を防ぎ、立ち直りと社会復帰を支える更生保護の活動を説明しました。下道さんは「中学校の3年間は短い。悩みがあったらすぐ家族や先生に相談しましょう」と語りかけ、生徒たちは犯罪や非行をしないことを誓っていました。



更生保護について説明する下道さん（円内）とマスコットを受け取った江刈中学校1年生の皆さん

## 県北バスケット大会 12チームが熱戦

町主催の第46回県北バスケットボール大会は4月23日、社会体育館で開催され、近隣の4市町から男女12チームが参加しました。

コロナ禍以前と同じように運営された大会では、ベンチや観客席から声援が送られ、選手たちは白熱した戦いを繰り広げていました。この大会は高校生が一般のチームと対戦できる数少ない機会とあって、大人に負けじと食らいつく高校生の姿が見られました。

結果は男子の部では久慈クラブ、女子の部では葛巻高校がそれぞれ優勝しました。



ディフェンス突破を試みる葛巻高校の選手（白）



担当者の説明を聞く参加者（五日市生活改善センター）

## 各地で集落座談会 事業に理解深める

3月15日から22日まで、農家を対象に令和5年度地域農業の推進に向けた集落座談会が、各地区センターなどで行われました。

座談会では、町職員などが国の経営所得安定対策等交付金のほか、町が行う草地更新支援事業や農地基盤整備事業などの補助事業の説明を行いました。参加した辰柳勝之さん（栗山）は「知らない補助制度について知ることができ勉強になった。さまざまな制度を有効に活用して頑張っていきたい」と今後の経営に意気込みを見せていました。

## 多様な仕事に魅力 派遣社員に3人目

4月1日、葛巻町特定地域づくり事業協同組合の派遣職員の辞令交付式が町長室で行われ、理事長の鈴木重男町長から小山裕子さん（26歳・平船）に辞令が交付されました。

同組合の派遣職員は3人目で、鈴木町長は「町のさまざまな職場を体験して自分に合った仕事を見つけてください」と激励しました。小山さんは「Uターンしようと仕事を探していて、多様な仕事を経験できる組合の仕事に魅力を感じ申し込みました。皆さんと交流しながら頑張っていきたい」と抱負を述べていました。



鈴木町長から辞令を受け取る小山さん⑧

## 酪農センター入所式 研修での成長を誓う

町山地酪農研修センターの入所式が4月5日、くずまき交流館プラトールで行われ、第44期生5人が入所しました。

鈴木重男町長は「現場での体験を通して、皆さんの将来の夢に近づけるよう、さまざまな技術や知識を習得し、実り多い有意義な1年としてください」とあいさつ。研修生を代表して外山尋人さん（上外川）が「1日1日の時間を大切に、自分の力を伸ばせる1年となるよう一生懸命努力します」と、自身の成長を誓っていました。



誓いの言葉を述べる外山尋人さんと第44期研修生の皆さん（後列左から）仙澤匠さん、近藤薫さん、鈴木聖也さん、今松純也さん